

高島市経営改革プラン実施結果

(効果額)

(平成18～20年度)

実施項目		効果等成果
経費削減	職員数の適正化	▲7億6,910万円
	職員給与等の削減	▲5億2,036万円
	借金の繰上償還による支払利息の軽減	▲4億110万円
	事務事業の見直し	▲1億4,464万円
	民間委託の推進(指定管理者制度の導入)	▲1億1,548万円
	補助金の見直し	▲6,430万円
	電気・灯油等の削減	▲949万円
収入増加	公用車の一元管理(3台削減)	▲95万円
	市有地の売却	2億8,959万円
	使用料・手数料の見直し	8,605万円
	新たな財源の確保(ふるさと納税・広告料)	734万円
滞納金の徴収(インターネット公売の実施)		137万円

経費削減合計 20億2,500万円
収入増加額合計 3億8,400万円
合 計 24億900万円

平成18年度から20年度までの3年間で、24億9百万円の経費削減や収入増加が図れました。

削減するのが難しいお金が増えています

市のお金は、市民の皆さんが安心して暮らせる社会・地域づくりに使っています。その中でも、医療や福祉など市民の皆さんの命や暮らしを守るために必要なお金は減らすことができません。また、これらは社会の変化に伴ってどんどん増えていきます。

市民の命や暮らしを守るために必要なお金は減らせません。



お金の使い方を見直していきます

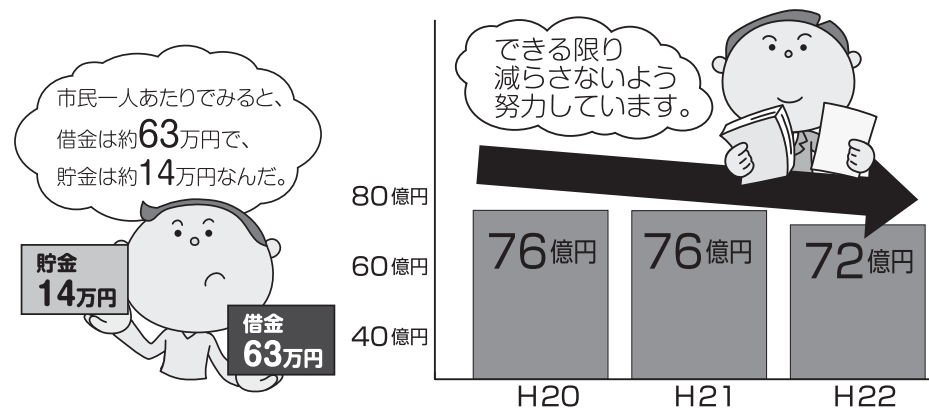
市の事務事業の見直しや市有地の売却などにより、平成18年度から平成20年度までの3年間で約24億円の経費削減や収入増加が図れました。

問財政課

(25) 8111

しかし、支出を減らす努力をしても、減らすことができないものもあります。そのため高島市では、これから経費の削減や財源の確保にさまざまな工夫をして、限られたお金をできる限り有効に使うよう努めています。

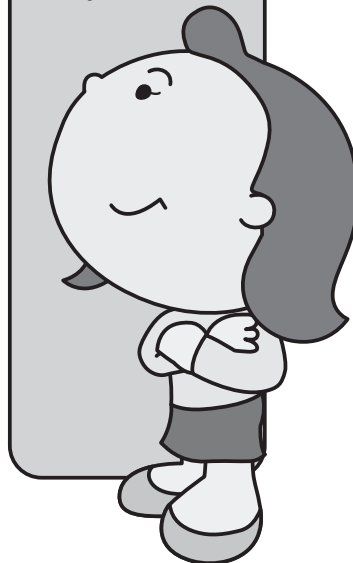
基金(貯金)残高の推移



市では、特定の目的のために基金と呼ばれる貯金をしています。今まで、市民の暮らしを守るために使うお金が不足する分は、この貯金を引き出してやりくりをしてきました。これからは、できるだけ貯金を減らさないよう努力していきます。

市の貯金は?

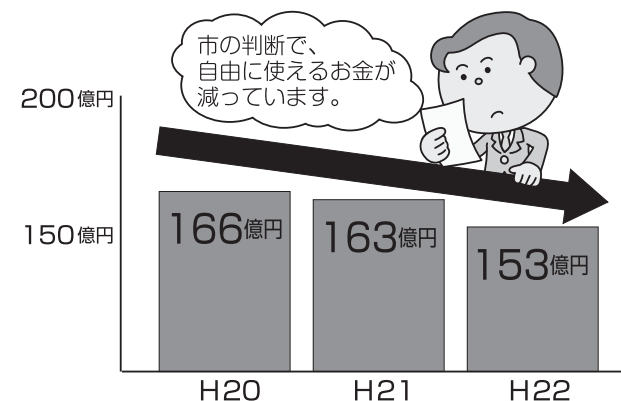
これから
どうなっていくの?



収入が大きく減っています

市の主な収入は、市税と地方交付税です。収入を増やすためにいろいろ工夫していますが、現在のところ大きな伸びは期待できません。

市税+地方交付税の推移



収入の伸びが見込めない

介護・医療費の増加

自由に使えるお金が、
どんどん減ってきているのね。



原因の背景には、
少子高齢化や
厳しい経済情勢が
影響している
んだ。

入ってくるお金
が見込めない中で、
出ていくお金が
増えるのは明らか
なの。

だから、より一層
の健全性の確保に
向けた財政運営が
重要な。